

松竹テレビ部

東京都中央区築地1-13-5 ☎(3542)5551



東宝テレビ部

東京都千代田区有楽町1-2-1 ☎(3591)7521



東映テレビ事業部

東京都中央区銀座3-2-17 ☎(3535)4641



大映映画営業部

東京都港区東新橋1-1-16 ☎(3573)8711

社団法人日本放送作家協会 ■ 広報委員会レポート



放送作家情報

1995/9/25 Vol.10

発行/社団法人日本放送作家協会
編集/広報委員会
〒106 東京都港区六本木6-2-5ハラビル
TEL 03-3401-5996 FAX 03-3479-4250

1 2期号

帰ってきました。 ライターによる ライターのための情報誌。

CONTENTS

| | |
|--|----|
| 特別企画 コミュニケーション うまくいってますか? | 2 |
| オピニオン | 5 |
| ライターズ サロンのお知らせ | 7 |
| 企画アリマス | 8 |
| 放送作家ってなにをする人? | 9 |
| マイ アピール・マイ クエスチョン | 10 |
| 現場発 | 16 |
| インターナショナル コラム | 19 |
| ライターは見ている | 20 |
| 同好の士集まれ! | 22 |
| 支部だより | 23 |
| [何でも掲示板] ちょっと教えて ゆずります・ゆずって ご協力を! | 24 |
| 執筆者リスト 連絡先一覧 | 26 |
| 次号のお知らせ | 27 |

STAFF

企画・編集/井川公彦・井上美保子・蔵元三四郎
さらだたまこ・清水喜美子・田北豊明
東 多江子・平柳益実・藤森いずみ
藤森 尊・増田真彦・三木睦郎 (五十音順)
デザイン・DTP/井口妙子 (Catamaran)
印刷/株式会社 美松堂

昨年、日本放送作家協会を運営する理事会に、企画事業委員会が発足しました。その最初の集まりにやってきた委員の中には、「初めまして」の人間も半分以上いて、ひととき、自己紹介の時間となりました。そこで委員たちは、同じ思いに至ったのです。「協会には1000人近い会員がいるのに、実際に知ってる人間ってほんとに少ないよなあ」と。

同じライターという仕事をしながら、お互いが知り合う場、情報を交換する場があまりになさすぎる、という事実を改めて驚かされ、そしてこれが、「会員がナマの言葉を自由に発する情報誌を作ろう」という提案となったのです。

提案は、理事会の承認を得て、「広報委員会の仕事」としてスタートすることが決まりました。実際の企画と編集は、幸か不幸か (!) 広報委員長に声をかけられた若手会員たちが当たることになりました。

毎年送られてくる「脚本家年鑑」が会員の名刺とするなら、これは、会員個々の肉声です。「放送作家情報」は、私たちライターの肉声カタログなのであります。この6月、会員皆さんから原稿を募り、そして集まった原稿のすべてがここにあります。

ここに華々しくデビュー号を! と謳いたいところですが、実はこの情報誌、およそ10年ぶりのカムバックであることを明記しなければなりません。1982年から85年にかけて、当時の広報委員会によって第8号まで発行され、92年には番外編も作られました。毎回、100人以上の会員が文章を寄せ、号を重ねるごとに、プロデューサーやディレクターが登場するページも増えていきました。紙面での出会いを機に、多くの交遊が生まれ、仕事も発生したと聞いています。

「放送作家情報」は、ちょっと長いお昼寝から目覚めたところ、と言えるかも知れません。これが私たち会員の心強い味方になってくれることを祈りつつ、ここに、第2期第1号をお届けします。

コミュニケーション、 うまくいってますか？

吉田 剛

コミュニケーションについて の戯文

「運命には逆らえない」のが局プロとのコミュニケーションだし、「水は器に従う」のが制作プロとのそれ。妻とは「言わぬが花」の無言で通し、わが子とは「親の顔が見たい」と腹が立つばかり。ライター同士では、「あな嬉し隣の蔵が売られ行く」と、他人のオチメを喜ぶ気持ちがないわけじゃなさそう。女たちとは、「中年や遠くみのれる夜の桃」の心境か。若い連中と話しても、「二階から目薬」の感、しきり。世間とは「柳に雪折れなし」でへらへらつき合っている。だいたいこんなふうにヨソゴトでしか語れないのが、コミュニケーション欠乏症じゃないか？

石井清司

思い出に刻まれる コミュニケーション

異ジャンルの人との交流は嬉しい。出会いにいい意味の衝撃（火花）があり、刺激になる。“互い”を存在し合える。今、コミュニケーションのお勧めは、“ちょっと”ポストからはずれた人との交流。彼（彼女）は大事な“痛み”というものを感じたことのある人。だから深く、潤い、はかない。自分を見つめることを知っている。だから他人も。友人を謙虚に受け入れたい時期。他分野に眼が行き、広がるようにしている時（“失意”の時、と普通はいう）。こんないい時期の人と友人になれるとは至福。それでいて、従来の（制作や編成）仕事の何たるかを深く身につけている。こういう方々とのコミュニケーションほど、思い出に刻まれる。そして、だから、その人は後日大きな実りをものする、と思う。

南川泰三

私のケンカ買って下さい！

いろんなプロダクションから企画を頼まれその都度、リサーチもし、ものによっては数日かがりて企

画を仕上げ、メ切りぎりぎりの時はワープロが間に合わず印刷に出すこともあります。

しかし、時間と金をかけても、頂くのは企画料、それはまあ、こちらとプロダクションの問題ですからいいとしても、残念ながら近頃、自分が書いた企画を直接局の担当者に説明、打ち合せするチャンスが少ないということです。OKの場合もNOの場合もこちらの本当の意図が伝わらなくてイライラすることが多いのです。時には喧々ガクガク、ケンカぐらいしたいよ！

金谷祐子

うまくいかないワースト3

打ち合せのときのコマッタちゃん。まずは、風上で煙草をふかす人。これはまあ、こちらが場所を移動すればよいことなので、あまり罪はない。おつきは、むっつり黙り込んでしまう人。しかもホンの出来以前の局内事情とやらで、それをこちらにあげすけに伝えるわけにもいかず、それで黙り込まれた場合は、かなり辛いものがある。だが、何と言ってもいちばん、こちらを萎えさせるのは、打ち合せの最中、やたら電話がかかり、部屋を出たり入ったりするオイソガ氏。

ある外国の政治家は、アポの相手がどんなにくだらぬ用件で来ていたとしても、約束した時間内は一切、電話などの取り次ぎをさせないのだそう。たとえ3分間でも、この人は私を最優先してくれている、という信頼感が、この政治家の根強い人気の秘密とか。

ことに女は、そういう男に弱い。こんな男のためなら、たとえ火の中、水の中、いいホン書いて……みたいのです。

児玉正博

多弁？になりすぎたテレビ

世の中、マルチメディアの大合唱……遅れてはならじと、私もパソコンと大格闘の毎日。

たまに演出を手がける時も、編集の急速なハイテ

お互いのコミュニケーションを図ろう、と始めたこの情報誌です。皆さん、日頃、どんな具合でナニしてるんだらう、という興味で特別企画としました。実際、ライター同士の酒の席、いつのまにやら、コレに関するグチや憤慨になってることが多い。だったらきつと、原稿もたくさん集まるんじゃないの？ と読んだのです。別の名を、編集サイドの「下心企画」。

ク化には目を見張るばかり……。

そんな中での『放送作家情報』リニューアル版のスタート、つまり草の根コミュニケーションというわけで、まずは喜ばしい！

特に、放送作家の知人といえ、数えるほどしかいない私にとっては、皆さんの声は、よい刺激になるかと大期待！

多弁なコミュニケーションより、もっと大切なものがあるような気がするの、少々年くったせいもあるのでしょうか……そう言えば、最近、テレビも、ちょっと多弁になりすぎているのではと思ったりしていますがいかがでしょうか？

辻 真先

まあ、ボチボチ

ミステリーを書くようになって、放送から縁遠くなりました。月のうち半分は浅間温泉住まい、さらに十日程は旅へ出るので、東京ともめっきり疎遠になりました。おのずと馴染みだったPDとも会えなくなります。

その一方で、旅ものを書き旅の講座を持つようになって、これまでおつきあいのなかった世代の人たちと交流がはじまって、心たのしいこともたしかです。マンガやミステリーの長年のファンを含めて、細く長く、趣味と仕事のボーダーラインを綱渡りしてゆくつもり。うまくいってますか？と聞かれれば、まあボチボチと答えるほかなさそうです。

東 多江子

ファックスの罪と罰

昔、目の前で原稿を読まれるのが苦痛だった。冷や汗が出た。ファックスで送るようになって、気持ちがラクになった。だけど、また別の心配も出てきた。まず、ちゃんと届いているだろうか、と。すぐにコールバックしてほしいものだ。夥しい受信紙の中で迷子になっていることもよくあるし。次にどう読まれているかという心配。何日もほっとかないでね。

ある書籍編集者が言った。「原稿を一読した後、目の前の作者に的確なことを言うのには、結構熟練が必要なんです

よ」と。そうか、こちらの冷や汗と同じくらいの緊張は読む方にもあったのだ。便利から不便にはもう戻れないが、原稿を渡す側、受け取る側の緊張は、何とか、持ち続けたいと思う。

星川泰子

ちゃんとケンカしたい！

仕事相手とちゃんとケンカするのは、本当に難しい。

たまに名刺のファイルを覗くと、顔も会ったシチュエーションも全く思い出せない名前を見つける。当然、そんな名刺はポイしてしまう。

そんな風に、私の名前もどこかで時々ポイされてるんだろうと思う。

その相手とは、おそらく表面穏やかに談笑して、「どうも」とか「よろしく」とかを連発して別れたのだろう。相手の提案に、本気で乗っている訳でもなく、かといってケンカもせず。だから当然仕事は実ることなく、ご馳走になったコーヒーとケーキの味よりも先に、その人を忘れてしまう。

“出会っていない出会い”

恐ろしいのは、そんな出会いが続くと本気になれなくなることだ。そう簡単に脱げますか、という気になる。すると、何を追いかけているのか、何を見定めたのか分からなくなる。これは、しみじみこわい。

だからちゃんとケンカしようっと。お互いに力関係をチラつかせず、弱い立場にイジげず、1プラス1は2になるケンカがしたい。

友澤 晃

女性たちから学んだこと

ガキの頃からコミュニケーションがうまくいかない人間だった。それゆえモノ書きになったのだが、少なくともテレビの脚本家という仕事は一人では絶対に完結しない仕事であった。そんな困惑した年月の中で身近にいる女性たちから学んだことがある。それは常に相手の立場や心情を理解しようと努め続けることがいかに大切かという実にあたりまえのことだ。だが僕は「おまえ」という言葉一つに愛がないときがあった。また愛があっても相手が「おまえ」という言葉で受け止めてくれないときがあることも知った。

コミュニケーション、うまくいってますか？

そんなコミュニケーションのツボを作家の師匠から肌で教わったヨイショと並行して仕事に活用させてもらっています。

大藪郁子

苦楽を共にする人々とは話が通じる

若い協会のMさんから電話があって、この創刊のために原稿を書けという。同じ会員のHさんから「あんた、世捨て人風ね」といわれて、観察が鋭いと感心していた私だ。公開の場でアピールしたい意見や企画がある筈がない。それでただちにMさんに断った。しかし個人的なつきあいのないMさんであっても、同業者なのでなやら懐かしく、受話器にしがみつき、最近経験した「ちょっといい話」を喋った。仕事と関係のある出来事だから、これは普通の友達に話しても「ふーん」という反応しか返らない筈だ。しかし、Mさんにはぱっと通じて「よかったですね」と喜んでくれた。「やっぱり同業者とは、話が通じるわねえ」というと、Mさんはすかさず「それ書いて下さい。項目一番を読みなおして」と攻めて来た。見れば「コミュニケーション云々」とある。逃げられなくなった。

思えば同業者というものは、日頃疎遠であっても、まるで幼なじみのように心を開いて雑談が出来る。大切な話も通じる。同業というのは脚本家のみならず、制作者、演出家等々、作業で苦楽を共にする人々をもふくむ。

アンテナを高くして、常に業界の傾向を察知していなくても、マイペースで生きていけばよい。縁あって出会えた時にコミュニケーションは断たれることはない。孤独な自由業のよいところである……と、今のところ私は楽観的なのである。

鈴木貴子

せめて気楽に電話をしよう

フリーなんてヤクザな身だと、同業者同士のお友達ゴッコは難しい。確かに今日はお友達でも明日は敵になるかもしれないし、もしかしたらライター同士が知らないだけで既に敵なのかもしれない、いやひょっとしたら周知の事を自分だけが知らないだけで……。それもこれも在宅勤務ゆえ外の情報が入ってきにくいからだが、一番確実な情報を持っているのは、皮肉な事に同業者だったりする。だからせめて気楽に電話が出来る程度のコミュニケーションは、互いに不毛な事件に巻き込まれないためにもキープしておいた方がよい。

そしてウツウツと疑心暗鬼な時間を過ごすより、例えば面識がない相手だろうと「どーも初めまして」と電話をかけて、当事者同士が直接話して確認しあう事をお勧めしたい今日この頃だったりする。

西澤 實

休刊明けにあたって…

無駄喋りでもいい。何とか同業の同憂同夢と話をしたい。いや、稿料や締切りなどの話題でない話題。そんな想いを、およそ十年程昔、「放送作家情報」が叶えてくれていた。

経済上の原因が主で、当時情熱を傾けて集稿編集に当たってくれた毛利恒之理事の涙を、見て見ぬ振りをして、休刊して貰った。

その“休み”が、終わった。再び始まる。嬉しい、万歳。若手の東女史あたりが中核となって、動き出したのだが、これは、大変な仕事なのだ。言うまでもない。

そこで、内外の皆々様に、伏してお願ひ。

どうか、原稿を書いて下さい。

なかに、誰かが書くだろうから、アタシはまあ…と、それがいけない。誰も書かなくなる。

皆、現実に仕事を抱えての、忙中の忙事。

どうぞ、ご出稿を…。

井上美保子

ゲームソフト業界に触発されています

ゲームソフトのシナリオ作成に携わっており、ずいぶん年下のプランナーさんたちと仕事をしています。彼ら、彼女らが、テレビ、映画、小説など、なんでも貪欲かつシビアに見ているのにたじろぐこともしばしば。「よりレベルアップした作品を」と、意欲に燃える、新しい業界の雰囲気は、なかなかよいものです。

戸惑うことのひとつは、用語の違いで、「井上さん、演出できますか」と聞かれ、「とっ、とんでもない！無理です！」。よくよく聞いてみたら、なんとト書きのことでした。他のみなさんはどうしていらっしゃるのでしょうか？

真木柚子

持つべきものは友よ

私ごとで恐縮ですが、老朽化した我が家を建て直すために借家に六ヶ月引っ越し、やっとこの程戻ってきました。半年の間に二度の引っ越しと主人の40日間に及ぶ入院さわぎがあって、とても仕事どころではありませんでした。その間、このような作家情報があったらなァとしみじみ思ったことです。たまにお会いする御同輩がホント、懐かしくて、持つべきものは友よ、の感を深くしました。

これはP・Dさんたちにも言えることで、発注を待っていて下さったP・D氏には感謝の他ありません。心機一転、頑張りますのでどうぞよろしく！！ 生活情報の真木柚子です。

THE OPINION

オピニオン

つまり、意見です。
「意見を言う」というアクション、ちょっとご無沙汰だった気がしますね。

岩間芳樹

『自分史』禍

自分史を書くことが流行している。その種のカルチャー講座に高年者が集まってくるらしい。そのせいか、私のところへ自分史がたくさん送られてくる。私の作品に実在の人物を扱ったものが多いからだろう。これをドラマ化してほしいという希望が添え書きしてある。むろん一面識もない人たちからである。

戦中から戦後へと波瀾の時代を送った世代だから、それぞれが劇的な体験をしたと自負している。中には、2時間ドラマや13回の連続ドラマとしての構成を指示してきたり、あるいは、自らキャスティングまでしてくる人もいる。そして、1ヶ月ぐらいうると、なぜまだ放送されないのか、と怒りの催促をしてくる人までいる。

昔の人は、苦労は顔に納めた。温和に枯れた。自分史を書くことに何ら異を唱えるものではないが、勝手に送りつけてきて、こんなドラマを放っておく手はないといわんばかりの態度、そんな年のとりかたに閉口する。実はこの『自分史』禍に私は十年来悩まされている。

東條正年

学識経験者

私は今庭の松の木にホオジロが一生懸命巣づくりをしているのを眺めながらペンを取っている。東京を引き払って丁度半年になる。市の連合婦人会の総会で講演を頼まれ、テレビドラマがどのようにして作られるかを話したら、大変好評であったらしい。早速、市の教育委員会の方が訪ねてこられ、「教育委員」になって欲しいと要請された。強く

辞退すると、「先生のような学識経験者は、市には珍しいので…」と大いに持ち上げられ、ついに承諾してしまった。隣の徳山市を歩くと、内館牧子さんの文化講演会の看板が方々で目につく。やはり私たちは「文化人」であり「学識経験者」なのだなど強く自覚した次第である。

大館哲弘

企画書にご用心！

テレビ、ラジオ、ビデオなどで、《企画書だけ》という仕事がよくあります。原稿料は3万円から10万円の間で、そのほとんどは決まらずに終わりますが、企画料を貰えるだけでもいいという人もいます。

企画が通らなければ1円も貰えないなどということが、現にまかり通っているようです。企画が盗まれるのもよくあることですが、企画が通ってもそれっきりということもよくあります。

アイデアだけを取られ、他の制作会社に回されたり、ディレクターが台本を書いたり、ディレクターが昵懇にしている作家に替わったりしてしまうケースです。

企画書だというのに、企画意図にプラス構成台本そのものを求められることもよくあります。

これが曲者です。

台本の形にしないとスポンサーによく理解して貰えないから、などというのが決まり文句ですが、台本になれば、あとはディレクターに渡せば作家なしで済むのを見越しての作戦です。

私たちは企画書を書くのが仕事ではなく、台本を書くのが仕事であることを知っていながら、経費節減のためにこんな手を使うのです。抗議をすれば「今度何かで埋め合わせしますよ」というが、埋め合わせる仕事が出たことはないし、大抵はそれっきり仕事ごとなくなります。

作品によっては、企画書を書くまでのエネルギーが7割、台本を書くエネルギーは3割ということもよくあります。それなのに企画料は安く、おまけに台本を書かずに終わらせてしまうのでは、まんまと敵の罠にかかったといっても過言ではないでしょう。企画書を台本の形にしないこと、このくらいの自己防衛は必要です。

作家たるもの他人の企画を頂くような破廉恥な真似はしないこと、お互い、このくらいの仁義は守りたいですね。

香月 隆

番組を売るってむずかしい

昨年、終戦50周年にちなんでTVドキュメンタリーを構成演出、そして制作しました。「南洋桜は知っている一サイパンの戦争と平和」で、民放向け54分番組。サイパン玉砕が沖縄戦の前哨戦となったことを取り上げた分かりやすい戦争物ドキュメントです。

はじめ、企画の段階で東京キー局に売りかけたがダメ。

後に、地方のブロックキー局へ企画を売りにかけたがやはりダメ。結局、全国のサイパン戦理解者から募金を仰ぎ、小生と友人の自己資金を加えて、番組を完成。全国へ番組をかけた。2千万円近くかけた作品も、各局で8万円から15万円くらいのネダンをつけられました。実に、テレビとは何かを考えさせられた一年でした。

小泉準司

TVは確立したものを作れ

視聴率故になりふりかまわぬTV番組は見せ物化した。TVでは確立したものはなく発足当時と同じと考えるべきだ。

よいものをよいものと見るシステムをつくるべきだ。形骸化した芸術祭をもっと機能的にして、その活動が視聴率を左右するほどにしたい。

TV界から「殺し」を放逐し、情緒に重きを置け。

1回放送したら、それっきりは、作った人たちの努力に気の毒。よいものを再放送する局をつくれ。

清水喜美子

未知との遭遇

《プロローグ》 パソコン通信を始めて約半年。以前から関心はあったものの、入門書をいくら読んでも理解不能。で、考えるよりまずトライとばかりにとにかく始めてみた。

パソコン通信に関心を持った最大の理由は情報収集。取材は足で…が大原則だが、元来、出不精でものぐさな私。足での取材を補う方法としてパソコン通信に目を付けたというわけだ。

キーボードを叩くだけで未知なる不特定多数の人々との遭遇が可能なパソコン通信（パソ通）…おもしろい、ハマりそう！

《体験編》 その1—30年近く音信不通だった広島の実妹と電子メールで近況報告。こんな形で親戚付き合いができるようになるなんて…。

その2—情報収集のために入った障害者フォーラムでリアルタイム字幕（字幕RT）に取り組む人たちと知り合う。これは全国の聴覚障害者のために、テレビのドラマを見ながら同時にパソ通で字幕を打ち込んでいくというもの。一人でも多くの人々がテレビドラマを楽しめるよう、私もできるだけの協力をするつもり。

その3—テレビフォーラムで某ドラマの企画募集を発見（2件）。また、別の局のドラマではタイトルを募集していた。

ム、ム…この業界もパソコンネットワークをフルに活用、企画書を電子メールでやりとりし、打ち合わせをリアルタイム会議でなんて時代に突入…しつづつある！？

未知との遭遇—今後、∞である。

藤森 尊

メディアがアメリカを
駄目にしたって、本当？

先般新聞にでていたのですが、アメリカでの世論調査で、メディアがアメリカを駄目にしたと思っている人がかなりの割合にのぼっているという結果がでたそうです。えー、そうなの？ 日本では？

メディアといえば、新聞、雑誌といろいろありますが、

テレビもその一つで…。そういえば心当たりがあるような、ないような…。まあ、テレビの構成という仕事を続けている私、「社会に役立つ番組」などとは申しませんが、せめて興味津々の番組を…当たり前か。で、もう少し構成という仕事を関係各位の皆様が評価していただけると有り難いのですが、実はこれが一番言いたかったりして。

窪田篤人

テレビドラマよ どこへいく

創世記からテレビドラマを書き続け、もう自分の世界ではないと古巣の芝居に戻り、小説も書き始めている。

テレビの世界はオウム真理教一色だ。戦後の問題が集約された最も不可思議な事件に違いないが、視聴率という魔物に乗っ取られ、オウム評論家以外は何の発言もできない。横行しているのはお笑いタレント番組だけだ。

政治問題、社会問題、作家として取り組まなければならない時を失ってきたのは、過去の我々にも責任はある。だが、一番大切な今、作家たちはプロデューサーのコピーライターと化し、若き旗手たちの叫ぶ場もない。信頼回復の最後の時に、テレビ人はなすべきことから逃避を続け…崩壊の足音が迫っている。

さらだ たまこ

ギャラの切り出し方

放送作家は何かにつけて厚かましい。しかしそんな私が言い出しかねる瞬間がある。ギャラの件を切り出す時だ。特に企画書。最近は構成ものでもかなり細かく書き込んだ想定台本を要求される。だが原稿料はメモ程度の企画書を

書いていた昔より割安。しかも大至急と依頼した割に提出した後はナシのつぶて。そこで最近はたとえ簡単な企画書でも、依頼ものはギャラと振り込み時期が明確でないとお断りするように試みている。たとえ当分の売り込み企画であっても、発想のヒントを提供するわけだから、お買い上げいただけない場合は「おさわり」部分しか見せないことに決めた。やってみたら意外に簡単に言い出せる。厚かましさは最後までまっとうしましょう。

阿木翁助

ドラマと騒音

このごろのテレビドラマで、いちばん気になるのは、各シーンに必ず音楽が伴奏されて、その騒音（！）が時にセリフを消してしまうことだ。その上、15分おきに入るCMが、そのけたたましい変化と騒々しさで、ドラマの気分を壊し、鑑賞の妨げになっていることだ。私などが昔、ドラマを書いていた頃のような演出は、作者として快かった。実際、今書いている諸兄姉のドラマが、あんな目にあっているのは実に心外だ。

せめてテレビも、ドラマだけはもっと静かにできないものか。

はみだし情報

肉筆派の不安

ワープロ派が増えて肉筆派は肩身が狭い。いまだに手書きで頑張っている人は、どのくらい、いるのだろうか？

井沢 満

『サロンのおしらせ』 文化団体に“合の手”を！

一緒に、遊びませんか？

月に一度（第3火曜日“3火”、PM4時から）、六本木の教室を開放してもらって、協会の親睦の場を設けています。もちろん、放送局や制作会社の方々もOK。誰かしらがおるので、時間のあいた方は、ご自由にご利用し、出合いを楽しんで下さい。

但し、缶ビール程度の飲み物しかないのも、もっとキツイのがよろしい方は、勝手に持ち込んで酔い潰れてもらって結構です。

さて、しかし—

飲んでダベっているだけでは仕方がない。放送作家協会には、他の団体には見られない、有能でユニークな人材がわんさかおるのです。なにしろ、放送に限らず、あらゆるジャンルの作家が揃っているのですから、専門知識だけでも、驚異的な量であるわけです。

その知識を書くだけではなく、喋る方でも、生かしてみませんか？

と提案する次第です。つまり、作家協会の『持ち物』を生かして、文化センターをやるやろうやろうや、やろうやろうではありませんか—という提案をした〜い。

名付けて、『六本木・雑学中学校』。

もちろん、一般生徒も募集して、わが日本放送作家協会が日本一の文化団体だということを、披露しましょう。面白いアイデアを持ってサロンまで来てね！

※創作テレビドラマ脚本公募・受賞パーティ

10月24日(火)午後3時から、六本木教室於。

是非、新人のために大勢の参加を！

— ハイタッチの映像空間 —
東京メディアシティ



国際放映

制作営業 03-3749-7216
スタジオレンタル 03-3749-7215
著作権管理 03-3749-7213



株式会社 ホリプロ

(本社) 〒153 東京都目黒区下目黒1丁目2番5号
Phone 03 (3490) 4611

(大阪営業所) 〒530 大阪市北区中崎西3丁目3番34号
ウィラシバヤ梅田東5E
Phone 06 (373) 4041

I HAVE A PLAN.

企画アリマス

ここは、企画のフリーマーケット。自由に手にとってご覧下さいませ。'JUST LOOKING' はダメよ。

竹村 潔

落語スタイルの捕物帖??

一昨年近代文芸社から落語スタイルの短編小説集「おまへん喜助捕物帖・旅の仇討」(四六判1800円)を出した。落語スタイルと言うところがミソで、当然の事乍ら語り口調で綴ってあり、サゲで収めてある。導入部が吉本的ギャグの連発で、若い層にも結構受けている。この作品を「てなもんや三度笠」の様な、孫や子供達と一緒に観る時代劇にしたいのだが。日曜日午後6時放送、30分1話完結、2クール。小説の方は既に27話まで完稿。二幕物の戯曲も1本完稿。御一報あれば本を送ります。

小島貞二

相撲と寄席演芸

戦後50年の回想が行われています。相撲とか寄席演芸の世界は見続けて来ましたので、多少のお役には立つことはできそうです。ご用命下さい。

高橋克雄

マルチメディア、CD-ROM企画

「メルヘンキャラクター集」「CD-ROMメルヘン人形絵本シリーズ」その他、私の作品を私のスタジオで完パケ制作しています。販売エージェント、代理店を探しています。

古川嘉一郎

やしきたかじんという男

関西TV界の「視聴率男」と呼ばれる やしきたかじん が注目を浴びている。約10年びったりと密着して仕事をしているので、たかじん に関するあらゆる取材が可能。固有情報も豊富。週刊誌の人物探訪などお任せください。

増田貴彦

「スピード」より熱い、面白い!

構想期間3秒の瞬速を経て、お送りする^{スーパーヒーロー} 超級、^{エンターテインメント} 娯楽、^{アニメ} 活劇「特装ストライカー」。5人のハイウェイ^{バトル} 戦士たちが悪を狩る、空前絶後、問答無用の面白さ。5速全開、この物語にブレーキはいらない……。

関上芳裕 (出水プロダクション)

ハリウッドに進出!

日本映画よりむしろアメリカ映画のほうがノビノビ書けるので、ハリウッドに進出して勝負をしたいと考えています。ジャンルは本格ミステリー。目ざすはアカデミー賞。意中の監督もいます。意欲と自信をもって協力して下さい。プロデューサーの方、御連絡をお待ちします。この夏中に企画を三本準備してロスに行きます。日米合作という形になるかもしれません。

小泉準司

真に面白いものを

目の悪い人で眼科病院はいっぱい。めまぐるしいTVの画面にも一因ありや。番組にユーモアを。30分番組のパラエティ・ショウなどがほしい。ユーモアと共に風刺がほしい。目と心の休まるものを。

津田幸於

時代劇の人間像

1959年からTVドラマを書き続けて来た。その、三分二が時代劇である。その大部分が主役変れど品変らずの、銭形であり、右門であり、黄門、佐七であり、金さん、狂四郎といったいわゆる御存知のものである。

私は、まだ、誰も手をつけていない時代劇の新鮮な主人公の人間像を創造しようと思う。

時代劇には二つの色がある。事件追いの「動」と人間を凝視めようとする「静」と。その二つの色を交錯させ、一体となって綾を織る処に波動豊かな興味と魅力が生れる。

私はいま、切絵図と現代図を手に舞台となる深川近辺を改めて、調べ直している。構想も出来上り、手垢のついていない人間像も創り上げた。この夏、小説にして書く準備で目下懸命である。乞う御期待!!

竹内日出男

あれやこれやと…

「企画アリマス」というよりは「作品アリマス」というべきでしょうが、昨年から今春にかけて小説を2編(340枚と185枚)仕上げ、6月現在、推敲中。うち1編は某大手出版社の編集者に読んでもらいましたが、どうなりますことやら。秋ぐらいまでに発表のメドをつけたいと思っていますので、相談に乗って下さる向きはありませんか?

TVでは、故なく犯罪のとばっちりを受けた人々(そんな人が実に多い!)の悲劇を通して今の世の中のありように斬り込むようなドラマの企画など、今年もいろいろと考えています。一方のラジオドラマは昨年から書いていませんので(今までにない空白です)、まさにあれやこれやと構想中で…

井川公彦

「成駒亭金将捕物遊戯」

少年版銭形平次ともいべき推理時代活劇。利発な少年と女にだらしない父親(浪人)が、仕官のために難事件を解決する。昔懐かし、今なら新鮮、少年ヒーロー物の時代劇を復活させましょう。

「おやさい家族・イン・六本木」

クロコダイル・ダンディ+逆・北の国から。田舎暮らしがしみついた農業の大家族が、東京都心の高層マンションに住むハメに。彼らが都会人に変貌していく姿を通して、本来の人間のありかたを描くユーモアドラマ。

本庄一郎(望田市郎)

テレビにふさわしい小説を書いています

四、五年前から、時代もの(短編—サスペンスを加味した人情もの)を雑誌等にせっせと書いています。すでに十数篇が活字になっていますが、「きわめてテレビ的な構成とストーリー展開」が特徴と編集者にいられています。ぜひ、ドラマ化を願っています。(なお、秋以後、拙作を“読み語り”で発表する企画をすすめている)さらにいま、ラーメンづくりに親・子・孫と三代、戦前から現代までの70年をベースにした物語など、(その他にも“近未来”に材をとった「B級映画のエース—大都映画物語」、「おんな剣劇—不二洋子物語」などあれこれ)テレビにふさわしい小説(原作)の出版が予定されています。

金杉文夫

アジアが好き

1997年、香港が中国に返還され西洋の覇権主義の残滓がやっとスッキリされます。と同時に、アジアの存在価値が先進諸国に対して大きく変わろうとしています。今までは製品のマーケットや労働力を獲得する場としてしか見られていなかったが21世紀には、購買者としての選択権を獲得し新鮮な情報を自ら提供する(衛星放送など)実力を発揮するのです。日本もアジアの一員である自覚と行動を取らざるを得なくなる日は、そう遠くないと思います。そんな、視点と気概を持った企画(衛星時代に対応する番組)を常に考えています。

そうしたテレビ作りを目指す同好の士(プロデューサー、ディレクター)の発注をお待ちします。

放送作家ってなにをする人?

さらだ たまこ

作家といえば小説を書く人のことだが、その上に放送の2文字がつくと何をやる人だか、世間一般には理解されにくくなる。簡単にいえば、テレビ・ラジオの放送媒体の台本を書く仕事で、ドラマの脚本、コントの台本、ナレーションの原稿などを書くと言明するとイメージはつかみやすい。

全くアドリブでやっているとされるバラエティショーや情報番組にも、一応の番組の流れを台詞つきで書いた想定台本が存在する。これは建築現場における設計図のようなもので、台本がないとカメラ、音響、照明などのスタジオワークがスムーズに運ばない。

もっとも台本を書かなくても放送作家で生きていける。放送作家はどこの局と専属契約ということではなく、フリーで自由に各局に出入りできるので、情報と人脈のネットワークが財産になる。特に得難い情報・人脈をしっかり握って、ビッグなスターや業界の重要人物を動かせる才能の持ち主は、新番組の企画を立ち上げるときなどにVIP扱いのスタッフとして重宝される。

こうなると、ほとんどコーディネーター的な仕事だ。中には地味に書いているよりも本人が喋った方が面白いので、そのまま画面に露出して、いつのまにかタレントになり、政治家になり、東京都知事になるという

将来性も……。

私自身の場合、長年料理番組の台本を書いてきたのがきっかけで、料理の本を出版したり、食品メーカーの商品開発という、いわばフードコーディネーター的な仕事が増えていた。その傍らで脚本も、コントも、エッセイも書き、時に作詞もする。

今時マルチは流行らないというけれど、あれもこれも欲張りしたい私には、何でもできる放送作家業は、性分に合っているとつくづく思う。

しかもこれからのマルチ・メディアの時代に、私たちの創造力はもっともって発揮されるはず。未来は明るい。

マイアピール
マイクエスチョン

アピールって言われたって。そうでした、物書きって謙虚な人々ばかりだから。ゴメンナサイ、そんなあなたを困らせて。

高梨 久
郷里を舞台の長編小説に入魂

近著『人生のエール』を診療新社より上梓しました。目下は、郷里、南紀を舞台にした書卸し長編小説にかかっています。当分、南紀と京都を往復します。

池本真司
遺伝子をテーマに準備中

定年を迎えました。といっても、客員教授として相変わらず法医学、人類遺伝学教室に残っています。人工授精や骨髄移植と遺伝子の変容を柱になにか書こうと思っています。皆様の御多幸をお祈りします。

下川 博
全く同感です

当誌の編集長の東多江子さんをはじめ、私が面識のある脚本家といったら、森治美さん、井上由美子さん、宮村優子さんとなぜか女性ばかりです。女流の物書きの容貌については世間で差別的な噂があるのですが、先日、渋谷の放送局の某プロデューサーが、「その噂はもはや過去のものになった」と感心していました。私も全く同感です。特集のテーマに則するなら、良きコミュニケーションとしてのゴマスリは三段論法的に行うと効果があると、私は信じています。

丸林久信
協会は大明神？

便々とただ在籍しているだけの私にとってお守りさんのような協会かも。時々、雑誌に随筆など書いている昨今です。

高山鬼一
ご用命の節はご連絡を

企画と文芸のクリエイティブ・コンサルタント
「ことぶき企画センター」
企画＝テレビ・ラジオ・映画・舞台・出版物・イベント・ゲーム、脚本＝テレビ・ラジオ・映画・舞台・劇画・漫画、演出＝アニメーション・舞台・映画、著作＝小説・児童文学・随筆・随想・コラム・絵本、制作＝油絵・イラスト・水彩画・影絵・切り絵・キャラクター玩具・雑誌等の付録・ぬり絵・絵本・デザイン・編集。以上と、その他もろもろやっておりますので、ご用の折は、ご遠慮なく、ご連絡ください。

柳沢昭成
我が師、「大船の竹林翁」

崩れかけた葦葺きの門を潜ると、鬱蒼とした竹林が続く。屋敷の主は自ら「大船の竹林翁」と云う北條秀司先生。齢93才で新作を書く。

江戸時代、深川黒船町に棲んで自ら「黒船老人」と名乗り、75才の最晩年に「四谷怪談」を書いた鶴屋南北。そのエネルギーの源は、人間への愛しさではないだろうか。平成と江戸の二人の老作家の風貌が重なる。

大南勝彦
日露関係はお任せを

江戸時代以来の日露交流史研究を手がけ、NHK国際局で長くソビエト向け囑託をしていたこともあります。例えば北方領土返還問題で、日露が両国交流の歴史を知らずにギクシャクしているのは残念です。特に北方領土問題の歴史背景では著作、番組執筆、解説出演等あり、幾つか受賞もしていますが、漂流民やロシア正教その他、日露ものならば何でもお引受け致したく。ロシアには研究者、放送仲間が多いため、日露関係が困難な今、両国の役に立ちたく思っています。

阿久澤克之
阿久澤克之改め沢木祐介です

放送作家となって15年…今まで「ドラマ」以外の、あらゆるジャンルの番組を担当し、数多くの“TVマン”から、テレビのノウハウを学ばせてもらっている。数え挙げればキリは無いが、あえて師と仰ぐ（仰がれた方は迷惑だと思

うが…) 3人を挙げたい。まずは、テレビとは何か？放送作家とはこうだ！をゼロからご指導して下さい井上頌一氏である。また、放送の厳しさを教えてくれたのが鈴木健二氏（現熊本県立劇場館長）である。客観的データと論理の積み重ねで信頼性を獲得する手法を学んだ。この対極に位置し、感性を大切にするのが、今、番組で勝負している関口宏氏である。何はともあれ、常に放送の第一人者と一緒に仕事を出来ることに感謝している。

白川 勲
ペンネーム考

某日、月刊誌を手にして頁を繰る。…と、白川という活字に目が吸いつけられた。中味は、怯懦に思いつき青春して来たという昔の若者が、小説を書いたという手記であった。仕掛人は彼が恩師と崇める、元出版社勤務の立派な仁である。後日二人は伊豆の民宿で最終原稿をまとめる。その夜…民宿の前を流れる河津川を見乍ら恩師が言う。「ペンネーム、よかったら『白川』にしませんか」と。白川の姓は、すでに私と70年近くも苦楽、生死を共にして来た。良いから選んだのだろうが、些少の気配りが欲しいと思った。類似名の重複はミスの基となる。名案は…？

岡本 螢
お芝居のお知らせ

9月19日～24日まで、新宿シアタートップスにて、自作のお芝居を上演いたします。タイトルは『ラ・鳥賊ホテル』。ひとりの男を殺害した女たち。しかし、ある日、その死んだはずの男から手紙が届きます。“海のそばに鳥賊ホテル

永 六輔
引退の前に何かを

どこで引退するかを考えている今日この頃、引退の前に何かとも考えていますが。

尾中洋一
放送依存からの脱却

本協会は「放送作家協会」、「日脚連」の前身は「放送作家組合」だが、我々が、これから目指すべきものは、「放送偏重」「放送依拠」の創作姿勢からの脱却、「受注偏重」「おもらい精神」からの自主独立。自ら企画し、自ら制作し、自ら発信していく「姿勢」と「場」の樹立、確保であろう。同業の士との研究会をつくりたい。

遠藤敦司
新刊のご感想、ご批判を

『テレビ草創伝説—23人の足跡』(三一書房刊)
本年6月、こんな本を出版致しました。テレビも40年を過ぎ、21世紀に向って進んでいます、その未来図は混沌としています。この辺で東京及び地方局で直接番組作りに関わった草創期の人々の記録をとどめようと、個人の力では限度がありますが、4年近くの時間を要してなんとか書き上げてみました。皆様の厳しいご批判とご感想を仰ぎたく、PRさせていただきます。

根岸 季衣 銀 粉 蝶
山下 千景
中上 ちか 前田 悠衣
加倉井 えり 川 俣 しのぶ
平塚 奈々 中 込 佐知子

脚本家
清水 喜美子 大島 蓉子

森下 哲夫
鈴木 義男
熊谷 俊哉
中根 徹
田中 智也

渡辺 いっけい

有限会社 **イジマルーム**
〒160 新宿区新宿1-36-6ラフィネ新宿601号室
TEL (03)3351-3889 FAX (03)3351-3369

SONY

人生のシナリオだって
人それぞれ！

生命保険のプロフェッショナルが
あなたの個性を応援します。

ソニー生命保険株式会社
川崎支社
担当ライフプランナー **吉開 孝人**
〒210 川崎市川崎区駅前本町3-1
リクルート川崎東口ビル8F
TEL 044-245-1002 FAX 044-245-2104

ひとり・ひとりの・ひとの
ソニー生命

テレビ・ラジオの脚本専門誌(毎月18日発売)

月刊 **ドラママ**

発行・映人社

〒107 東京都港区赤坂5-4-16
シリオ会館4F
TEL 03-3508-0000(編集部)
TEL 03-3508-0001(営業部)
FAX 03-3508-0101

という家があります。ばあさんがひとり住んでいるちいさな家です。よかったら一緒に泊まって、よかったら一緒に寝ませんか”はたして、女たちが殺した(はずだった)男は、生きているのか、死んでいるのか? 風雨のはげしい、ある晩夏の夜…“烏賊ホテル”とよばれる海辺の家に、四人の女たちが集います…。

お問い合わせは、「あなただけ今晩はプロデュース」
03-5991-4976まで。

水原明人

『江戸語・東京語・標準語』の 姉妹編を執筆中です

来春、スタートする新しいテレビ会社『東京メトロポリタンテレビジョン』の番組企画を頼まれて検討中です。若い作家の活躍の場が広がるようになればと思います。今年10月からの試験放送に向けて準備を進めています。何かの折には、ご協力をお願いするかもしれません。その節はよろしく。

私自身の仕事としては、昨年、講談社から出版して、思いがけず好評で版を重ねている『江戸語・東京語・標準語』の姉妹編を執筆中。時代の流れの中で、ある時期、当然のように使われ、時代の流れの中で消えていったさまざまな言葉を追いつきながら、日本百年の政治、経済、文化、風俗の歴史をたどろうというもので、7月末の締切を前に目下資料の山に埋もれています。講談社現代新書から、出版は秋になるでしょう。

私の大好きな女優さんのために芝居を書くと言ったまま、目前の仕事に追われて、そちらは当分ストップ。恥じ入っています。

田北豊明

「ぬけがけ」は悪だったか

悪名高い若手ライター集団「ぬけがけ」が三年目で表面上解散した。仕事で競合する人もしない人も、様々な畑のメンバーたちが和気あいあいとやっている…かに見えたが、集まりが悪くなって久しい。もともと目的のはっきりした集団ではなかった。集まってから何ができるかを考えた。失望したり、嫌気がさした人もいる。だが個人営業の仲間たちにとって、酒を飲んでエネルギーを発散させる場となった。それでいいと思っている。個性的な仲間たちをたくさん知った。貴重な財産である。気心のあうメンバー同士は今でもいっしょに酒を飲んでる。「ぬけがけ」を抜けがけた残党がそのうちにまた、悪さを企むだろう。大いに期待したい。

旭丘光志

深層意識層への音のアンテナ 『心歌十二章』

ひょんなことから『心歌十二章』というCDアルバムと出会い、以来一年半、聴く者の潜在意識層から想いもかけなかったような言葉を次々と引きずり出すこの一群の歌の力がどこから来るのかを追いかけている。

ある人は、歌う秋吉恵美という歌手の声の特異な波動がもたらすものと断言し、その歌手を“シャーマン=巫女”と言った。また朝日新聞のある編集委員は、完全失明への日々と競走しながら作詞作曲する石坂まさる氏の必死懸命の命の燃焼が、無意識のうちに深層意識層へのアンテナとしての歌を生んでしまったのだという。108章まで作るという石坂氏の曲はいま88章(曲)まで仕上がり、この8月には『続・心歌十二章』が発売になって前のと合わせて24曲が私達の耳に届くことになる。これだけ曲数が揃うことによって何かもっとくっきり視えてくるものがあるのではないかと。

普段、あまり歌を聴く習慣も暇もない管理職や官僚など社会を動かす人々が夢中になって聴くという心歌十二章には、まだよくは分らないがたしかに時代の深層に釣り針を垂らすような何かがある。

探索の日々はまだつづく。

森 治美

男の子とキヌタと私

6月11日午前5時41分、愛娘犬キヌタが死んだ。体重20kg、タレ耳、短毛、薄茶の雑種で、12才と10日の生命だった。

泣き暮らした二週間が過ぎ気持ちは少し落ち着いてはきたが、居ないということの寂しさは拭えない。そんな時、以前キヌタのことを写真と拙文で本のような体裁をとりプレゼントしたことがあった男の子が、遠くからわざわざ線香をあげに来てくれた。一度も会ったことのないキヌタが、彼の心の中にも居た。それが、うれしかった。

いま私はキヌタの全てを、また一冊の本のようにしようと思っている。出来たら、小学校四年になるその彼にももらってもらつつもりだ。多分その時、キヌタに「さようなら」が言えるだろう…心の中に静かに住まわせることが出来るだろう…そう、思う。

石谷洋子

猫の昼寝

我家には4匹プラス1の猫がいる。プラス1というのは迷い猫で、ことわりもなく居ついている。こいつはどうも血統的には良い猫らしい。シルバーグレーの長めの毛並みに青い目をして、台所の椅子に陣取っていびきをかいて寝ている。あとの4匹は、その親も、またその親も、代々家

で生まれた猫である。くやしいことに親猫は、猫医者に殺された、と私は思っている。避妊手術代がやけに安かった。その上、もらい手のない子猫の里親を探してくれるというのだ。私は、とびついた。嬉しいことに猫の送り迎え付きだ。まずは、手術をする親猫をたくした。その夜、手術は成功したが、麻酔から醒めずに彼女は死んだと、その病院から電話があった。その上「当院にはペットの霊場もあります。いかがですか」と云う。冗談じゃない。私は、親猫の遺体をひきとった。もちろん、子猫の里親探しも断った。それが、今いる4匹で、性格も好みも全部ちがう。ただ昼寝タイムは、私と一緒にいる。というより、私が猫と一緒に、四六時中、グータラしているのかも知れない。

橋本和子

身辺雑記

山頭火にはまってしまった。以前から知らなかった訳ではなく、いや、むしろ『うしろ姿のしぐれてゆくか』『おもひでがそれからそれへ酒のこぼれて』『いつも一人で赤とんぼ』などの俳句に心魅かれてはいたのだが、たかが俳句の為に妻子を捨てて人の情けに縋っての生きざまにはどうしても共感することが出来ずやり過ぎてきていた。ある芝居を書いていてふと山頭火の妻はどういう人だったのだろうかという思いが頭をよぎった。そこで何冊かの本を読んだが一向に彼女の姿は見えてこない。托鉢姿の山頭火の、それもうしろ姿がかすかに見えたに過ぎない。苛立つて全集を買込んだ。日記を読み、書簡集を読み随筆を読むに至って生きるについての切なさがわっと押し寄せてきてはまってしまったという次第だ。

山頭火の妻の姿はまだ見えない。だが、今年中にはなんとかみつきたいと思っている。それが独りよがりであったとしても、彼女の姿を捉えることが出来て初めて山頭火の正面の顔が見えてくるように思えるからだ。山頭火の俳句にもある。

『星があつて男と女』

高谷信之

TVドラマ書きます

ラジオドラマ一筋に、今年の夏で40本の脚本を書いた。その内オリジナルでNHKのFMシアター等に書き下ろしたものが11本。連続の原作もののエンタティメントが29本である。大体が劇作から始めて、自分の劇団で脚本を作り演出してきたが、縁あってラジオドラマを書き始めた。テレビは三年程前からNHKの「中学生日記」を時々書いています。マイ・クエスチョンは、不思議な事に、日本のこの世界はコネクションがないと仕事のきっかけが広がって行かないのが悲しい。TVドラマ書きます。誰かコネに関係なくオーディションして下さい。自信あります。

秋田佐知子

民話劇に初挑戦!

宮崎県延岡市の総合文化センターが今秋開館十周年を迎えます。十周年祭で延岡の民話を舞台化することが決まり、只今執筆中です。

水野麻里

『土俵に棲む女』

(集英社文庫) 水野麻里著 只今、絶賛発売中!!

“女が相撲を取って何が悪い!!”というわけで、横綱をめざすべく男として育てられた主人公の精神の日々を描く、愛と感動と笑いの大噓編!? もうバカウケのオモシロ小説です。秋にはこの作品を原作にしたマンガも登場!! さらに『土俵に棲む女・その弐』も発売予定!!

今がチャンス!! この作品を原作に、ビデオ、芝居、ミュージカル等、企画、プロデュースしてみませんか?

集英社も全面協力してくれるそうです。連絡、相談は集英社文庫の小山田さんまで。

木庭久美子

戯曲執筆の日々です

つい先頃、竹久夢二の妻を主人公にした戯曲を書きあげたところ。上演は未定です。

目下、私の住む鎌倉のアマチュア劇団の記念公演(11月)に向けて、芝居を書いています。

六行会ホール
RIKKOKAI HALL

21世紀の
演劇をめざして

—北品川に昨年12月オープン—

財団法人 六行会 経営

〒140 品川区北品川2-32-3

TEL 03-3471-3200

▷ 京浜急行「新馬場駅」(品川から2つ目) 徒歩2分

三木睦郎

ビートルズのことなら何でもご相談を!

昨年、芸文社より「ビートルズとは何か?」を上梓しました。近々、再結成してレコーディングを行うとか、ワールドツアーが決定したなどといった噂が流れている彼らですが、ビートルズに関する企画、情報、アイデアならなんでも御相談下さい。尚、本を宣伝してくれるなら、無料で出演、企画書作成に応じます。

再結成が決まってからでは遅い、今のうちよ!!

門川美代子

身につまされる

「午後の遺言状」を見た。乙羽信子さんとは、昔馴染みの間柄で、同年、同病なので、彼女の最後の出演を、他人事ではない目でみつめた。

観客の殆んどが年輩の女性たちで、一人で見に行ったにもかかわらず、ロビーで、隣り合せのシートで友達のように気軽に話合った。こんな経験は初めてである。

去年の12月に乙羽さんが亡くなった。私はまだ、ムダに生きている。「頑張る」という言葉が嫌いなのは頑張れないからである。

綾瀬ま彦

ドラマの責任を思う今日この頃

何を隠そうボクチンは、キリスト教系の幼稚園に通っていたおぼっちゃまくんである。右の頬を叩かれたら叩かれっぱなしで何処か屈折してしまったヘンテコリンであるが、素直な面も持ち合わせており、幼少より映画館へ通っていた青春時代まで、多くの物事を映画から学ばせてもらった。「正義は勝つ!」「人間を信じよう!」映画やドラマの創り手は、なんて素晴らしい人達だろう。

が、いつの間にやら創り手に回り、それが単なる思い違いであることに気がついた。現実と絵空事のギャップを埋めて欲しいと願う今日この頃、ボクチンのような阿呆を造り出さない為にも、責任あるドラマ創りを心がけねばと思う次第である。あらあらかしこ

中 弘子

因果はめぐる!?

私と姉は数カ月の差で出産した。ふたりとも、いわゆる“高齢初産”である。“高齢”と言っても私は出産の数カ月前にその年齢になってしまったわけで、四十路手前の姉よりは“余裕”のはずであった。

が、出産とはそんなに甘いものではない。私は陣痛でさんざん苦しんだあげく帝王切開になり、一方の姉は超安産

だった。更に、うちのコはとても手が掛かり、私はすっかりやつれてしまったのに、姉は退院した翌日から遊びまわっている。なにか釈然としない。

ふたりの姿をみて母は私に「お姉ちゃんは手の掛からないコだったけど、あんたは大変だったから」と言う。因果はめぐる、を実感した……。

亀 和夫

松井 誠をよろしく

放送作家、脚本、演出、ディレクターと色々やってきましたが、現在は、なぜか(株)誠オフィス代表取締役と劇団誠の企画制作。松井誠という役者と共同代表です。大劇場で歌舞伎以外に女形もできて座長をはれる役者のいない現在、市川雷蔵丈を思わせる彼は、ひょっとしたら大化けしますよ。

劇団員15名に飯を食べさせるため、地方巡業もしており(蔵元三四郎さんと書いた女形気三郎ほか)、映像方面に進出できないのが悩みですが、今後はそちらにも力を入れたいので、協会員の皆さん、ドラマのみならず、ドキュメンタリー、バラエティー、ワイドショーなどでも企画してください。ところで、ぼくもヒマを見て、こつこつと脚本書いてますので、忘れずに。

宮村優子

「私とふたごと右の心臓」

内臓逆位と言うんだそうだ。

平たく言うと心臓が右にある。心臓だけがという例は、何百人に一人という程度のもんで、たいした不思議もないけれど、私のようにすべての内臓が逆位置というのは、そこそこ珍しいものであるそう。

私自身はその特徴を格別意識したことはなかったが、先日友人が送ってくれた外国の雑誌に、ちょっとした読み物が載っていて、どうやら私の場合、一卵性双生児の片割れだった可能性が強いらしい。よく母親から聞かされた出生前後の体調ともいちいち符合する。

ところで、私の体のすべてが「もう一人」とシメトリーであったとするなら、私は実は左ききだったんだろうか。右脳と左脳も逆なのか。目下の私は右ききだが、言うことは、ずっと普通人で言うところの右脳(私にとっては左脳)ばかりを刺激しつづけているわけで、論理的思考に著しく難があるというのは、この辺に原因があるんだろうか。

自分がどういう人間なのか、心や気持ちの不思議を考えることはあっても、体の不思議を考えることはなかった。

そういうことについて面白い読み物があったら、ぜひ教えていただけませんか。

Schuh' Schlappen

スイ、スイ、スイスからやってきた!

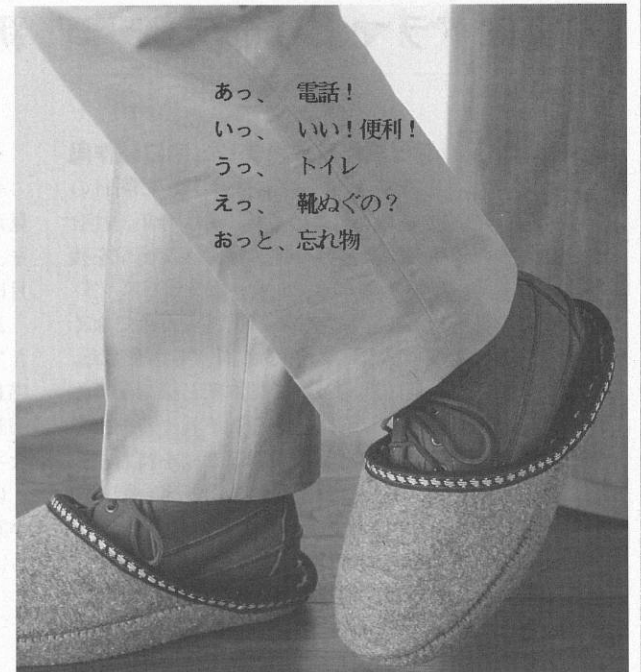
シュー・シュラッペン

土足でスイスイ
脱がずにスラスラ
シュラシュシュ!

靴にはくスリッパ
靴のままはくスリッパ
床を汚さず
床に優しい
あたらしい 生活必需品

使ってみればわかります

シュー・シュラッペンとっても便利
シュー・シュラッペンとっても親切
シュー・シュラッペンとっても清潔



あっ、電話!
いっ、いい!便利!
うっ、トイレ
えっ、靴ぬぐの?
おっと、忘れ物

妻の恋

人気脚本家、内館牧子が普通の主婦たちの本音にせまる。NHKドラマ新銀河で放送。

内館牧子

夫と二人の子供の四大家族で、郊外の団地に住む、涼子は家事や雑事に追われて、毎日をむなしく感じていた。そんなある日、国際線のパイロット村瀬徹と出会い、恋に落ちてしまう。それから毎日が輝いて、張り合っている日々を送ることになるが……。ちょっと危険で、切なくて、どこかおかしい恋の物語。 定価1,100円(税込)

9月25日より総合テレビ午後8時40分放送開始予定



八月の叫び

NHKドラマ『八月の叫び』をモチーフに描かれる映像作家、佐々木昭一郎のピュアな世界。

佐々木昭一郎

今から27年前の夏、チェコのプラハで、ある若い男女が「スプリースの木」という英語を、愛という言葉の代わりにささやきあった。そして今、ひとりの若い女性が、その愛の深淵を知り、その愛を再び生きようとする。 定価1,800円(税込)

いざ『ロケの里』へ

近藤あきら 大新東グループ広報室長

五年前、長い記者生活の足を洗って、日光江戸村などテーマパークと時代劇制作に夢をかける大新東グループへ転進、広報担当をしています。取材する側から、される立場に変わって、これまで世の中の半分も見ていなかったと痛感する毎日です。同時に、取材をお願いする上で、これまでの友人、知人に大いに助けられ、人脈のありがたさを味わっています。

この春、江戸村の山頂に造った時代劇用オープンセットの「ロケの里」のこけら落としにも、大勢の取材陣が見えられ、天下に宣伝していただきました。同オープンセットは七千坪のところに23棟の建屋が立つ日本一のスケール。日本庭園の緑と水が美しく映えています。時代劇に夢をかける作家の皆さん、ぜひ一度「ロケの里」に来られて、時代劇への夢を紡ぐ我々の姿を見てください。そして、出来れば同じ神輿をかつぎませんか。

ドラマ30(サーティ) 喧嘩作法

富永晃一 中部日本放送プロデューサー

作家とディレクターが殴り合いの喧嘩になった。ドラマ30(サーティ)の撮影も中盤、徐々に本が遅れ出し、現場から不満が出かかっていた。労をねぎらい、流れを変えようとプロデューサーが一席設けたのだが、裏目に出た。「本が悪い」「演出が違う」と喧嘩になったのだ。割って入ったプロデューサーは「立場を弁える」とディレクターを殴った。作家は涙を流し、そして何もいわずに去った。プロデューサーの目を見て黙ったディレクターは、置き去りにされた作家の鞆と壊れかけた眼鏡を持って彼の後を追った。

熱い想いと、体力がいいドラマを作る。ドラマ作法に禁じ手はないと改めて思う今日この頃ですが、来年は新しい切り口で目の覚めるような「不倫」物と「母」物をやろうと考えています。できれば眼鏡を外してご参加を!

時代劇の制作現場から

松平乗道 東映

時代劇ドラマは厄介なジャンルである。時代考証をしっかりとやったからいいというものでもない。歴史事実とかけ離れた約束事が存在するし、御老公の印籠とか遠山奉行の刺青といった不思議な道具立てもある。

こうして幾重にもめぐるされたまきをクリアしながら面白いドラマを構成するのは、なみなみの事ではない。新人作家の登場は至難の業である。

それでもなお制作現場では新しい才能の出現を待望しているのである。

先輩作家や監督、プロデューサーたちと膝つき合わせながら、ハコ作りから執筆、改訂といった手順を十分に体験すること——執筆手順はワープロに替わろうとも、時代劇作家が巣立つためには、昔ながらの修行課程が必要だと思う。もし、それが成り立たないようなら、「時代劇」という特殊なジャンルもおしまいである。

求む、ラジオドラマ・ライター

岩澤 敏 TBSラジオ

いま、TBSラジオには「ラジオ図書館」というラジオドラマのレギュラー番組(毎週月曜日、午後8時~8時55分)があります。主に「原作もの」が中心となっていますが、ときにオリジナルドラマも交えて放送しています。ラジオドラマにとって脚本は生命、構成力はもちろんですが、キメの細かいセリフが必要不可欠です。想像力をかき立て、聴く人それぞれの想いや経験に照らした心象風景を描いてもらう——ラジオドラマは脚本家にとって挑戦し甲斐のある、魅力的な場であると思っています。優れた、若い脚本家との出会いを渴望しています。

現場発

「制作現場」の現場です。プロデューサー、ディレクターの方々に、「どうか御発言を」とお願いしました。一緒に番組を作る同志たちの、共感と情熱と本音が詰まったページです。これからは、P、Dさんはもちろんのこと、そのほかのスタッフ、俳優さん達のメッセージも、このスペースでお待ちしています。

事実ドラマより奇なり

高戸辰一 テレビ朝日制作局

テレビにおけるミステリーの老舗、テレビ朝日の「土曜ワイド劇場」を担当している私にも、今年、社会を震撼させた「オウム真理教事件」は大きな衝撃を残しました。

我々が事件を扱って作品化する時、善意だけでなく悪意をもふくめて“人間”を信じて創ってきました。悪意を、動機を、何時間もかけて脚本家と議論し、作品の肉付けをしてきました。だからこそ我々の創ってきた殺人者たちは、秘められた人間ドラマを持ち、観客に理解される犯罪者たり得ました。たとえ、憎悪の対象であったとしても。

しかし、オウム真理教事件の被告たちは、我々の理解の範囲を超える動機と殺意を持って、犯罪を起しているように思えます。

これを“狂気”と片づけることは簡単ですが、今後このような犯罪が、世間にも、テレビドラマにも溢れないことを祈りたいものです。

新宿アンモ・ナイト

田中美登里 TOKYO FM ディレクター

小さい頃から、デパートの屋上で遊んだり、映画を見たりして大好きだった町「新宿」をテーマにしたドキュメンタリー・ドラマ『新宿アンモ・ナイト』を五月に制作、放送しました。

あらためて新宿を歩いてみて、様々な時の地層に生きているアンモナイトを発見、宿場町、新宿の深さを感じ入ると同時に、誰もが“自分”という役を自由に演じることのできる劇場都市、新宿がますます好きになってしまいました。

いずれ、続編をと思っていますが、新宿にこだわる作家、あるいは魅力的な新宿人や場所をご存じでしたら、是非お教えください。

はみだし情報

新人を紹介して!

地上波だけでなく、BS、CS、そしてケーブルと、放送作家の守備範囲も広がっています。そこで、若いやる気のある新人を知ってる方、紹介してください。

寺崎 要

求む! 若きパートナー

武田浩治 毎日放送テレビ制作部

ご存じのとおり、現在在阪民放でつくられているドラマはわずかです。

もともと関西は、吉本中心に笑いに関するタレント・スタッフは豊富な分、ドラマについては層が薄く、この傾向は年々強まるばかりです。お笑いタレントでは、売れても関西にとどまる人もいるのに、役者・脚本家はどんどん東京に流出していきます。その一番の原因は活躍の場を与えられない私たちにあるのですが、現場で下働きする者としては一緒に新しいことを考える人脈の枯渇していくことに危機感を感じています。今度ともこういう場を設けてもらえるのであれば、ぜひ積極的に活用させていただき、仲間をふやす場になりたいし、逆に作家の方達がふだん何を考えていらっしゃるのかを知りたいと思っています。

がんばれ！ 新人脚本家

渋谷康生 総合ビジョンプロデューサー

私は、橋田文化財団が今年から新設した「新人脚本賞」の選考委員として、審査にあたった。驚いたことに、募集期間も短く、新設の賞にもかかわらず、681篇の作品が寄せられた。脚本に情熱を燃やす多くの人々の心にふれ、胸があつく思っていた。

慎重な審査と熱心な議論が戦わされたが、今年は残念ながら入賞作なし佳作2篇という結果になってしまった。

佳作となったのは、梶田裕子作「ファイト」、見村青作「手紙の音」の2作品であった。この2作は、主人公の心の動きを丁寧に追いながら、作者の主張を精一杯表現しようとした心暖まる佳作であった。寄せられた作品は、構成・展開などのテクニックは優れたものが多かった。しかし、残念ながら、作者の強い主張が胸に突きささってくるような激しさをもった作品が少なかったというのが私の感想である。

次回には、私たち選考委員が心から感動し、争って映像化したくなるような作品に出会えることを期待している。

事実に負けない フィクションを！

大山勝美 (株)カズモ

事実に負けないフィクションとは何か？ テレビは現実をうつしだすのに最適なメディアであるだけに厄介です。

しかし、新しいやり様もあるでしょう。

私自身も、今まで、ご縁のない方とも、どんどん話しあい、刺激をえたいと思います。とくに、
(A) 新しい家族や人間関係のありようを探るドラマ。
(B) 国際的なひろがりのある日本人にまつわるドキュメンタリードラマ。

(C) 骨太の物語性にとんだドラマ。

に関心があります。

私の方からも、気軽に御紹介なくとも、お声をかけさせていただくかもしれません。その節はよろしくお願ひします。

はみだし情報

有望な新人がいますよ
放送作家教室の小生のゼミからも、各種コンクール入賞者など新人脚本家が次々と巣立っています。責任を持ってご紹介します！
竹内日出男

現場発

スマイリー電通。



【フェイスマーク】
パソコン通信などで、感情やニュアンスをうまく伝えるため記号やアルファベットを組み合わせた絵記号のこと。スマイリーとも呼ばれます。ちなみに上のマークは、「喜び」を表しています。

もっと、よく。



株式会社 電通

パソコン通信のような文字ばかりの画面ではこんなちよつとした工夫が嬉しいもの。コミュニケーションは、ますますおもしろくなってきました。電通も今年はみなさんがわくわくするほど、変わります。国内外のネットワークを整備したのも、そのひとつ。インターネットを利用した情報発信サービスを始めたのも、そのひとつです。笑顔と笑顔を結ぶための新しい工夫の数々、電通も新しい顔で、がんばります。どうぞご期待ください

インターナショナル コラム

4年間にわたった『国際オーディオドラマコンクール森繁賞』の成果は、世界中から寄せられた参加作品の数の多さや優秀さだけではありません。海外の作家団体や放送局との交流を通して、多くの作家、演出家、プロデューサーたちと友情を深められたのも、何よりの収穫でした。

その交流を一層深めるため、協会有志による、森繁賞受賞国歴訪ツアーが企画され、岩間芳樹、水原明人、竹内日出男など15名が参加、4月なかばから半月間、ドイツ、ハンガリー、スロベニア、オランダ、ベルギーの5カ国を訪問し、各地で大歓迎を受けて話し合ってきました。

お国の事情はさまざまですが、ヨーロッパの放送人のオーディオドラマに対する思い入れには並ならぬものがあり、人類が生んだ文化のひとつとして、この貴重なジャンルを未来に向かってさらに高めていこうと、意欲満々でした。各国のオーディオドラマの番組数も、日本では考えられないくらい。制作スタジオも各種の階段や水槽などが完備されていて音響面の工夫が多く、最新鋭のオーディオ機器を備えた西部ドイツ放送(ケルン)の調整室などは溜め息ものでした。作品のCD化やフェスティバルの開催など、く聴かれるための努力もおそろかにされていません。

一方、日本のオーディオドラマに対する彼らの期待も大きく、各国から、『森繁賞』に代わる新しい国際コンクールの創設も強く要望されました。東洋からの文化的発信は、世界の放送人に待たれているというわけです。日本放送作家協会としても、一層の努力を継続しなければならないでしょう。政治や経済ばかりか文化の面でも、国際社会で名誉ある役割を担いたい——そんな夢の実現のために、日本の放送関係者全員が手をとりあえる日を祈るや切です。

以下、お会いした主な仲間をご紹介します(訪問順)。

アンドレアス・アムマー(ドイツ・ミュンヘン)
『ラジオ・インフェルノ』(作・演出)で第4回作品賞を受賞。音響性を重視した独自の表現を目指しており、今年も次回作で、伝統あるドイツの芸術賞を受けた。宗教を題材にした新しい世界の開拓をと、なおも意欲満々。

ペーター・ホルバート(ハンガリー)
『チャオ・チャオ・バンビーノ』(作・演出)で第1回脚本賞を受賞。ラジオの仕事のほか舞台でも活躍しており、訪問時はオリジナルのミュージカルの稽古で大忙し。

ロイゼ・コバチッチ(スロベニア)
『蜜蜂の巣箱の蓋に描かれたものがたり』(作)で第3回脚本賞を受賞。遠い日本には縁がなかったが、受賞後日本の作家たちと触れ合っ、同じ感性の人たちだと痛感したというベテラン作家。

アレシュ・ヤン(スロベニア)
『蜜蜂の巣箱の蓋に描かれたものがたり』のプロデューサー。ラジオスロベニアのドラマ部長。EBU(ヨーロッパ放送連合)ドラマ委員会委員長としても『森繁賞』に貢献してくれ、2度来日。「皆さん、新しい国スロベニアへどうぞ」とのこと。

ルディー・ファン・ミュールス(オランダ)
『洪水』(作)で第4回脚本賞を受賞。ノンフィクション作家としても世界を股にかけて活躍中。受賞を縁に日本の現実や伝統文化にも深い興味をもち、近く再来日してラジオドキュメンタリーを制作する予定とか。

ヒー・ラーネン(ベルギー)
『いま、むかし』(作・演出)で第2回脚本賞を受賞。かなりの日本通で、訪問時には、戦時中の神風特攻隊員の内面に迫る新作ドラマを聴かせてくれた。日本留学希望をもっている後輩のバルト・スタウテン氏(第4回に『長崎ブルース』で参加)ともども、日本との共同制作を目指したいと。

ウォルフガング・シファー(ドイツ・ケルン)
第1回作品賞『ドイツを訪ねて』のプロデューサー。西部ドイツ放送協会ラジオドラマ部長。前任のパウル・シュルテス氏とともに、それぞれ2回にわたって来日し、『森繁賞』に多大な貢献。愉快な論客で、日本のラジオドラマを積極的にドイツで紹介してくれている。

協会では、能や歌舞伎のテキストをハンガリー放送協会に送るなど、その後も国際協力の実をあげています。

ヨーロッパの仲間たち

報告・井川公彦

ライターは見ている！

企画書の嫁入り

私は28歳、番茶も出端の駆け出しの構成作家です。先輩や業界の方たちは、面白い企画さえあれば通る、そしてお金になるといわれます。でも本当にそうなのでしょう？ 私は疑問です。

学生の頃から温めていたバラエティの企画を何とかしたいと思い、知り合いのディレクターについ口が滑ったのが発端でした。「面白いから企画書にしてみよ」と乗せられ、勇んで企画書にして持って行ったのです。すると、そのディレクター氏は「面白いんだけど、僕よりプロデューサーのほうが偉いから…」と、あるプロデューサーを紹介してくれました。ここまでは良かったのです。…私は早速会うことにしました。プロデューサー氏は、「とてもいい企画ですが、今の時代、企画を通すにはスポンサーを捕まえてくれるのが一番ですよ」とのこと。ニブい私でも婉曲に断られてしまったことが解りました。ここまでも良くある話です。

しかし、無謀にも私は、企画にふさわしそうな企業を2〜3社探してアポを取り、企画書を見せて熱意を示したのです。先方は一通り話を聞いた後で、「大変けっこうなんです、そういうものは一応代理店を通して伺うことになっていますので」と気の毒そうにおっしゃり、親切にも取引の代理店を紹介してくれました。

実はこのへんで、「これはやり方をマズったかな」と気がかなり落ちてきたのです。ここであきらめていれば良かったものを、私は懲りずに代理店に連絡したのです。担当の方は忙しくて捕まらず、代理という方が会ってくれました。「お宅ですか、スポンサーに直接押しかけたという人は」とニヤニヤされ、「大変気の毒ですが、あそこの企画関係は全部△△先生のところをお願いしているんです。企画は面白いんですから、そちらとご相談されてみてはいかがでしょう」とのこと。有名なプランナーの先生の事務所の連絡先を教えてくださいました。

ここでホントに止めておけば私の傷はまだ浅かったでし

よう。こうなりややけばちと、純情な私はその先生の事務所にも企画書を出しました。先生は留守でした。以来、アシスタントの方の「あとで拝見したのち、ご連絡さしあげます」との言葉を信じ、返事を待ち続けること半年…。

こうして私の不憫な企画書は、いまだに嫁入り先が決まらぬまま、たらいまわしされ続けているのです。

ではなばんちや
(出端番茶)

「育ててやる」にご用心

やっとこさコンクールに入選、やれ嬉しやと思っていたら、担当ディレクターはスキンシップが大好きだった。

わたしも戸籍上は女なので、すわ、これはセクハラかと思ったら、「あんたにセクハラ？ よくも恐くないなあ」という声が友人の男女多数からよせられた。なるほどわたしは自他共に認めるタテ・ヨコ両面の大女で、そのディレクターは、どう見てもわたしの半分しか体重がない。

コンプレックスの裏返しかな。それともヘンゼルとグレーテルに登場する人喰い婆ばばみたいに、肉づきでも確かめているのだろうか。どっちにしても気色悪いので「そーゆーのは、やめてくださいね」と言ったところ、ディレクターは逆上して怒鳴り散らし始めた。眼がすわっていた。

のちに、歴代の入選者はみな同じ目に合っていることが分かった。「育ててやる。他の仕事は一切やめろ」と言うことも同じ。

わたしはすでにこの世界で多少の仕事をしておりこいつは変だぞと思ったので、「はあ…まあ、どうも、そのうちおいおい」などと適当な返事をしたのだったが、地方在住の素直で純情な入選者は、言われた通り勤めをやめ、アパートをたたんで上京してしまい、しかも食べていけるほどの仕事があるわけではなく、あとでたいへん困ったと聞く。

そういえば、脚本の仕事をしていると言ったら、「ちえっ、もうやってんのか」と舌打ちしていた。業界ヴァージンがほしかったのだろう。

しかるべき機関を通じて正式に抗議でもした方が後進の

昔の物書きは、臆せず喧嘩をふっかけたものらしい。今はなかなかふっかけられない。照れがある。計算もある。でも、腹にはたまってます。大いにたまってます。だからこんなページを作ってみました。ぶちまけたい方、大歓迎！ 匿名を原則とします。

ためかな、なんて被害者同盟（というほど大げさでもないが）で話し合っていたら、くだんのディレクターはすでに定年退職、その後間もなくみまかっていた。

人の死に対して、あれほど厳肅と正反対の気持ちになったことはない。もうちょっと早かったら間に合ったのにな、とがっかりしたわたしの怒りは、長い年月をへても風化せず、ナチ・ハンターのごとく執拗だ。恐い？

(フェロモンなし子)

漫画家に席をゆずる！？ 放送人

「最近、才能のある人間は、漫画にいくんですかね」

雑談の席で、あるTVプロデューサーが言った。放送作家二人を目の前に置いて。

近頃、漫画を原作にしたTVドラマが増えていることについて、彼はそう言ったのである。決してシナリオライターである我々にいっばつ皮肉をかましたわけではなく、ただ、素直に感想を述べてみただけ、そういう言い方であった。しかし、素直に言われたのがかえって堪えた。そのあと二人は、「土農工商でいうと、我々はどこに置いてもらえるんだろうね」と、苦笑しながらビールをかつくらうことになった。

最近特に、テレビ番組の漫画化が進行している、とわたしは感ずる。先のプロデューサーは、「かつてドラマの原作と言えば小説と決まっていたものだが」、と言いたかったのだろうが、テレビの番組自体が、「漫画的映像」になっているように思える。若者向けのドラマは、キャラクター設定にしるストーリー展開にしる、青春漫画風だし、バラエティ番組にやたら大きな文字で現れるテロップも漫画紙面のキャプション風で、ときには、それ以上お粗末で、映像をそのまま説明している文章だったりする。

しかしだ。「いつからテレビは漫画の模倣をやるようになったんだ」、なんて嘆いてみても、きっとシナリオ学校の受

講生にだってばかにされるだろう。視聴者の大半は、空気と同じ量の、あるいはそれよりもたくさん漫画を読んで育ってきているのだ。その視聴者の感性に合うものを作っていたら、自ずと漫画的映像になってしまうのだ、と。

テレビの作り手は、かつての文学少女や映画青年だった。それが漫画世代にとってかわった、とも言えるだろう。「時代は移り変わってるんだよ、おっさん」と言われれば、はいその通り、と認めるしかない。

その大前提に立ったとしても、ニッポン人の才能がハイテク技術と漫画にしか出現しない時代を生きるかと思うと、なんとも情けない。どう考えたってバランス悪いぜ。せめて、土農工商の最下位を認めるシナリオライターにだけはなりたくないものだ。テレビを作る人間として、オリジナリティにこだわりたい。

ディレクター&プロデューサー諸氏も、「才能のある人は、漫画の編集者になるんですね」と言われたいよう、くれぐれもご注意下さいますように。

(人生を漫画にしたいくないライター)

バイオリン製作

田中眞次

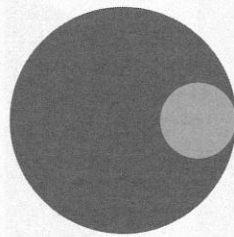


貸し出し致します。
じっくり試奏して
ください。♪♪♪

分数バイオリンも
製作致します。

その他 修理など
ご相談ください。

〒243
厚木市山際248-5 (昭和音大近く)
工房 TEL 0462-45-8372
自宅 TEL 0463-87-0559



同好の士、集まれ!

堀 公也

パソコン通信とミステリ

一昨年、ワープロを叩きまくって「さつま稚児歌」なるミステリ短篇集を出版、賀状で「初競りやめくら千人めあき三人」とボヤいたものですが、今また性懲りもなく新聞社を舞台にした長編推理を書いています。IDがKFQ00152、ハンドルネームは「さつまチコ」これがワープロからパソコンへ転身した小生です。

日々有閑の身に表計算もグラフも不要、ただただパソコン通信で碁を打ちたたかただけですが、GO TERMなるソフトが難解、いまだに満足に対戦できない有様です。

同好同遊の士あれば、メールください。

小島貞二

演芸作家と芸能人との研究グループ

「有遊会」という笑芸研究グループが19年目に入りました。演芸作家が芸能人ともども勉強しています。

南川泰三

ドキュメンタリー研究会の提案

ドキュメンタリーの研究会を企画しています。過去、個人的に二度ほど開催し、いずれも途中で消滅してしまいました。

ドキュメンタリーにかかわる作家、あるいはこれからかわりたいと思う作家が、1~2ヶ月に一度集まって、情報交換し、ドキュメンタリーにおける作家の役割、問題点などを話し合えればと思います。

希望者が5人以上いれればすぐにでも作協に申し出てドキュメント部会の活動の一環に出来ればと思うのですが...

御希望の方は、

南川泰三まで(出来るだけハガキかお手紙下さい)

大野 桂

オウムより河童を

たまたま畑違いの本『河童の研究』(三一書房)を出したのが機縁で、河童連邦共和国の村民になってしまいました。

この共和国は、大統領がいたり、河童サミットがあったり、全国にまたがる河童ファンの組織ですが、オウムの国とちがって、人畜無害、出入り自由の愉快的な世界です。

「水は命・河童は心」がモットーで、大は日本の水辺環境保護の推進、小は河童グッズの収集まで、マジと遊び心が混在。私などは、本邦初の“河童寄席”まで企画する始末です。

皆様、どうぞ河童連邦共和国へ!

なお、私はべつに“外報部長”ではありません。

神津友好

石コレクションへのお誘い

同好の士のお誘い—私の専門は笑いの芸能ですが、公認資格で余暇生活開発士の活動もしています。御用とお急ぎでない仲間が集まって「お金のかからないヒマのつぶし方」石コレのすすめです。

川原に集まり、面白い石を拾い、似た顔やかたちを見立てて美学センスの遊びを楽しもうという企画です。

私の「石コレ」はスライドで上映、作家教室や各地の講演で見てもらっています。思いがけぬ笑いのゆとりが拾った石から湧き出します。仲間+ファミリーでも、ある日とりあえず多摩川へでも集まって、石の見たて方見つけ方はお教えます。お弁当持ってくること。

上野友夫

ミステリークラブ結成準備中!

創作推理ドラマ・ラジオ・テレビドラマのための書き下しのミステリードラマをめぐって、意欲ある方々の参加を望みます。と云っても、まずは同好の士が集って、ミステリー談義に花を咲かせ、その成果として、小説もよし、ドラマもよし。トリックがあれば、皆んなでストーリーを考えるもよし、楽しいグループにしたいと思います。いずれ発起人が集い、グループの名称、活動内容などを決めて御案内したいと思います。いい知恵があれば御一報下さい。放送作家協会ミステリークラブ(仮称)準備委員会の準備人、上野友夫

杉 昌英

気持ちのいい汗、流しましょう

テニス&温泉の仲間、求めます。初心者歓迎。一から教えます。ボールの打ち方、温泉のつかり方。日頃、運動不足の皆さん、一緒に汗をかきませんか。

支部だより

ローカル放送作家の叫び

中国支部 峯 喬

地方の放送作家にとっては、毎年述べられている「脚本家年鑑の支部だより」の通り、仕事は皆無の状態。ただ若い会員たちだけがラジオ、TVの構成ものに多忙の日を送っているのが現状である。

そこで中国支部では、いささか地方の放送文化に貢献しよう(主旨は立派だが、何か始めないと放送作家の肩書がサビついてしまうので)ローカル局の自主制作番組をモニターして、ざっくばらんな意見を述べ、冊子にして送りつけようと企画している。

もちろん私たちは何の束縛も受けていないのだから、自由なモニターが展開できる。これが局側に渡った時、一笑されるか、立腹されるか、そんなことはどうでもよい。中には私たちの純粋なモニターに関心をよせる人もあるだろうから、まんざら無駄とは思っていない。

かつて私もある局のモニターの経験がある。指定番組をモニターして感想を送る。それらを集めて月報が作られるが、ホメた場合は月報にのせてくれるが、クサした時は没であった。局側とすればスポンサーの関係もあってやむを得ないかも知れないが、これではモニター制度の意義にならない。

いま広島地方のローカルで大変好評な番組がある。ローカル制作会社の作品だが、毎回20%以上の視聴率をあげているという。それを見たが、全く私の肌には合わない番組だった。若者に受け入れられようとした魂胆がわかり、オーバーなアクションだけが素通りした。ただ取上げるものが地方のお店だったり隣りのおばさんだったりが高率の原因のようだった。

ドラマ作家でありながら、最近はドラマを見る気がしない。切った、突いたで盛り上げ、結末のわかるうすっぺらな物語りが、どこのチャンネルを廻してもやっているのには腹が立つ。

過去のドラマは局も作家も真剣だった。見終わって温かい勇気と希望を与えるものを作ろうと心血を注いだものだ。そういった傾向がなくなり、とにかく視聴率、視聴率と視聴者に迎合しはじめたのは何時頃からだろうか。

マルチメディアの実現が叫ばれ、TVも次第に衰退するだろうと云われる。しかし、どんなメディアでも、どんな時代でも、人間の心を温かくかきかたて、感動を与える作品は称賛されるだろう。このことを今こそ局側も作家側も心すべき時代ではなからうか。

アイデア供給・売り込みセンター

九州支部 井田 敏

去年の渇水、今年の豪雨、いきなり襲ってきた猛暑と自然の条件は様々ですが、放送業界の天気図は相変わらずのようで、九州の作家諸氏も手持ち無沙汰状況から脱出の傾向は見えていないようです。

ことドラマに関しては民放は費用のかかる地方制作をギブアップしていますし、特にオーディオドラマは壊滅しています。NHKだけが2ヶ月に一本の管内中継枠と、年に何本かの全中を作りますが、会員の出番は支部の中の何人かに絞られてきます。

あとはドキュメンタリーか構成ものが仕事の大部分ですが、これさえも本数が激減していますから、放送作家専業で看板を掲げてゆくの極めて難しいこの数年といわなくてはならない時代です。

まあたまに民放大会とか芸術祭に出す「放送局の体面」というか、そんな時に企画の相談があったりはしますが、全部が結果として実るわけでもなく、(しゃーないよ、まったく)というボヤキも、微妙なアキラメの響きがあるのかも知れません。

こんな状況ですから、支部活動を何とかしなくてはと思うのですが、仕事が活発ならいざ知らず、見上げた番組の賞揚とか、放送界マン・オブ・ザ・イヤーの表彰など表彰活動はカッターで正気ではできかねるのです。

それかといって「放送文化セミナー」を開こうにも、ヒマを持って余しておいでの中高年紳士淑女とか、就職戦線脱落組の学生諸君ばかりお集まり願っては、何のためのセミナーかよと、力の抜けることになりまますから、ここは一番、各局にこんな人材、こんな企画、こんな発想があるのではと、アイデア供給・売り込みセンターの役目を果たすことしか、支部長の仕事はないのではないかと、半分本気で考えています。

それにしても本を読まないディレクター、思考能力が欠如しているのではないかと疑われる人間に放送局は占拠されて終わったのか、首をかしげながら、飽きもせず「こんな番組、やろうよ」とシノプシスのワープロ打ちに汗を拭う今年なのであります。

掲示板!

■ ちょっと教えて ■

ハリウッド映画界について

「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで」を中心にテレビバラエティの構成をやっています安達元一と申します。

この放送作家としての本業以外に、私の趣味の世界なのですが、劇場用映画の企画をいくつか持っています。これを持ってどうせやるなら夢は大きく「ハリウッド」に渡ってみたいと今思っているところです。

そこでどなたか「ハリウッド映画界」の詳しい情報に詳しい方、色々お話しできませんでしょうか? 宜しくお願い致します。

安達元一

新聞の三面記事を

長い間の冬眠から覚めた「放送作家情報」おはようございます! 爽やかなお目覚めで御活躍の程、期待しています。ブラウン管から一瞬にして消え去る仕事をしていると、良いものが蘇り、引き継がれて残っていく嬉しさを痛感致します。

そこで早速、お世話にならなきゃ損! “事実は小説より奇なり”と云いますが、昭和から平成にかけて、新聞の三面記事を集めた本又は資料を探しています。なるべく詳しく内容が記されたものが欲しいのですが……。御存知の方、お持ちの方、是非御連絡下さい。御礼多大!

荻原美和子

愛犬家の皆様へ、ご相談!

実はうちのひとり娘(雑種メス4才半)が、のみアレルギーで困っています。獣医さん処方のみ薬、のみ取り、シャンプー、のみ取り首輪、まで試してみたのですが、一向に効き目が無く、体中かきむしって半狂乱になっている娘が不憫でなりません。

これぞ! という方法をご存知の方、どうか教えて頂けませんでしょうか。

溝田佳奈

■ ゆずります ■

電子ブックとザウルス

初期のソニー電子ブックとシャープのザウルスが机の引き出し奥深くに眠っています。いずれも買ってはみたものの、自分には不向きとわかり、型は古いですがほぼ新品の状態です。どなたか、ご愛用いただけるのなら非常に安価、超激安・投売でおゆずりします。電子ブックには『広辞苑』もお付けします。ものぐさな主人のもとではせっかくのハイテク機器も浮かばれぬだろうとこの場をかりてお願いいたします。ご連絡ください。

山本雄史

■ ゆずって ■

語学教材

イタリア語、スペイン語、ギリシア語のリンガフォンをおゆずりください。

細川直子

犯罪、法医学の資料

刑事ものを書いていますので、警察、犯罪、法医学など、参考になる資料がまとまってあり、しかも、ご自身に必要な場合、おゆずりいただければ、誠にありがたいと思えますが……。

大塚孝典

■ ご協力を! ■

神戸の印刷屋さん

阪神大震災の被害により、神戸の印刷屋さんの半数が廃業に追い込まれ、残る半数の企業も存亡の危機に立たされています。被災地救援のために、来年の年賀状はぜひ神戸の印刷屋さんへ発注していただけるよう、ご協力をお願いします。神戸にお知り合いのある方は直接ご注文下さって結構ですが、もしお知り合いのない場合は、私(盛善吉)が皆さんの注文をまとめて、神戸の印刷屋の団体に取り次ぎます。詳細は協会の事務局にお問い合わせください。申し込みの期限は11月15日です。重ねて、被災地救援にご協力をお願いします。

盛 善吉

はみだし情報

けんかは日本語で先日マドリードのホテルで大げんかした。こっちは日本語。結局むこうがシャッポをぬいでケリ。外国でケンカするときは日本語に限ります。

三浦則夫

TV映画・劇映画
記録映画・TVCM
企画・製作・販売

株式会社
シーエーエル
C.A.L
CREATIVE ASSOCIATES LTD.

代表取締役
社長 松前洋一

〒104 東京都中央区築地1-9-9
細川ビル6F
☎ 3545-2911(代表)

アリコの新ガン保険

1. ガンと診断されたら
一括 1,500,000円
2. ガンで入院のとき
日額 10,000円
3. ガンで手術した場合
1回につき 100,000~400,000円

35歳男性保険料 1,685円

脚本家連盟担当
那知公智子

アリコジャパン横浜支社
電話 (045) 661-1471(代表)

ENTERTAINMENT

Ephraim



映像販売株式会社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-11-13
俳協ビル1F
TEL 03-3355-1081 FAX 03-3355-1322